わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2019.1
No.342

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人（内12人が子ども）
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000 万人が
飢えのために生命を失っています

写真：ボリビア「子どもの日のおやつ」

contents

希望の種を蒔きませんか
わたしから始める、世界が変わる
ハンガーゼロ応援者の活動
WFD 浜松大会に取り組んで
東京基督教大学
～異文化交流実習体験記～

新年おめでとうございます

WORLD HUNGER
821,000,000人

ハンガーゼロは宣伝文句ではありません

2018 年は私たちにとって大きな変化の年でした。 日本での呼称を「Hunger Zero（ハンガーゼロ）」とし、長年皆様にお届けしている「飢餓対策ニュース」も「ハンガーゼロ・ニュース」にさせていただきました。

この十数年で、時代は大きく変わっています。90 年代まで支援の対象であった中国は今やアメリカに次ぐ世界第 2 位の経済大国になりました。タイ、マレーシア、インドネシアなどもどんどん変化しています。私たちの活動地を見渡しても、ＦＨカンボジアの責任者は昨年の世界食料デーで来日をしたリンリーさんというフィリピン人の女性です。ＦＨバングラデシュの 200 名近くいるスタッフは 100%近くがバングラデシュ人スタッフで構成されています。国内の人々の支援だけではなくミャンマーから難民としてやって来ているロヒンギャの人々の支援も行っているのです。確実に支援は実を結び、大きな変化が起こっています。皆様の捧げてくださるご協力を無駄にすることなく、この世界からハンガーゼロ（飢餓をなくす）を実現させたいと願っています。

しかし、日本の中で扱われるニュースはほとんどが国内のニュースです。そのために国内災害の時は大きく世論は動きますが、国際のこととなると、動きは鈍くなり、入ってくる情報源も限られています。この数年、世界も自国主義に大きく傾いています。「共に生きる」ことや「戦争のない世界」の実現はどこにいったのでしょう。これは危険な兆候です。

今も飢餓に直面している人々 8 億 2,100 万人、発育阻害で苦しんでいる子ども 1 億 5,100 万人、学校に行くことができない子ども 6,100 万人であると国連は発表しています。ハンガーゼロは単なる宣伝文句ではありません。本当に飢餓のない世界を実現させるために、今年も皆様とともに強い意志をもって進んでいきたいと願っています。

2019 年が大きな変化の年となりますように。　　**ハンガーゼロ理事長　清家弘久**

Hunger Zero 第１回 世界食料デー大会に取り組んで

浜松 チャレンジをもらいました

●浜松大会実行委員長
田中　進（浜松グレイスライフチャーチ牧師）

10 月 27 日㈯ 浜松クリスチャンセンターに於いて第1回目の世界食料デー浜松大会が行われました。数ヶ月前からの短い期間の準備でしたので私たちにとっては大きなチャレンジでした。

また、今回は教会関係の方々を主に対象としていましたので当日はどれくらいの人が集まるか少し不安でしたが、ライフラインのテレビ放送や地域の教会からの案内を見てこられた方々もおられ、会場が一杯となり感謝でした。

プログラムは地元で活躍するキッズクワイヤーやゴスペルグループのコンサートの間に、ジェローム カセバさん（コンゴ民主共和国ハンガーゼロ駐在員）と近藤高史さんの講演、報告がありました。映像や分かり易いお話を通して飢餓の現状を知ることができ、更に私たちが具体的に出来ることなど、子どもも含め参加者一人一人がチャレンジをいただきました。アンケートにも次回の大会の開催の希望や「私ができること、頭でとめるのではなく、手を通してなしたいです。」などの感想も寄せられました。サポーターとしての申し込みなど応答もありました。

グレイスキッズクワイヤー

現地報告をするジェロームスタッフ

多くの方のご協力の中、浜松での開催ができたことを嬉しく思いました。今回だけのイベントで終わらせるのではなく次回は更に支援の輪を拡げつつ、継続的にこの働きに参加協力していきたいと願っています。

世界食料デー募金 郵便振替 00170-9-68590（一財）日本国際飢餓対策機構「世界食料デー募金」と明記。

東京基督教大学異文化交流実習 2018/7.9-8.3

異文化交流で気づかされたフィリピンそして私

同行した安達スタッフ㊨

貧困の中で豊かさを知る ●福島望

私が共に過ごしたフィリピンの人々は、物的な不足こそあれ、その心は物にあふれている人々よりも朗らかで豊かなもののように思えました。それはＦＨフィリピンの活動がとても大きく働いていたからだと私は考えています。ＦＨでは物質的な支援だけではなく、貧困の中にある豊かさを見出してもらう活動も行っています。物だけでなく、心を満たす活動です。貧困の中にあっても豊かさを見出している人々がいることを知ることができました。私たちが本当に追及すべき豊かさとは何なのか。物があふれる日本に住む私だからこそ考える必要があるのだと思わされました。

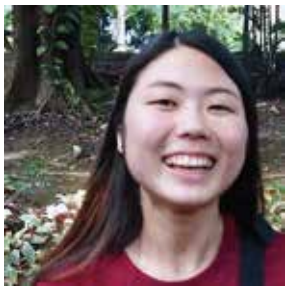
フィリピンを大好きになる ●吉澤愛祈（よしざわあき）

私がフィリピンで得たものは友人です。FH フィリピンのスタッフ、現地の大学生、コミュニティの人々、ホステルの女将さん、たくさんの出会いがありました。友人ができると、私は完全アウェーの日本人ではなく、友人を訪ねている視点でフィリピンを見ることができました。そこにあったフィリピンはインターネットやガイドブックに載っていない、私だけのフィリピンです。私が見たのはフィリピンのほんの一部にすぎませんが、フィリピンを大好きになることができる異文化実習でした。

外国人ではなく隣人として ●大田イサク

今回の実習は FH フィリピンが行っている子ども会や事務作業のお手伝い、家庭訪問やホームステイなど盛りだくさんで、フィリピンの人々の温かさを感じた１ヶ月となりました。貧しい生活の中にありながら、見ず知らずの私たち日本人を迎え入れ、手厚くもてなしてくださる人々の姿に胸を打たれました。実習に参加するまで、私はフィリピンに対して「貧しい国」というイメージを持っていましたが、共に生活し時間を共有する中で、彼らの内面の魅力や貧しい中で生きていく力強さも知ることができました。外国人として関わるのではなく、隣人として彼らを愛するということの大切さに気付かされた１ヶ月間でした。

交流を通じて理解できた ●満仲歩歌（まんじゅうほのか）



ＦＨフィリピンが展開するＣＦＣＴ（Child Focused Community Transformation）は、子どもに焦点を当てた活動で、FH が協力しコミュニティ全体で子どもたちを育てていこうとする働きです。私たちは各コミュニティに出向き、人と出会い、村を見て、フィリピンの現状を目の当たりにすることができました。人々と話し、遊び、交流を持つことで彼らも神様によって愛され、生かされていることに改めて気付かされました。FH フィリピンのスタッフの方と共に活動できた喜びと神様によって守られた実習となったこと、全てに感謝します。これからも続く彼らとの関係やフィリピンを祈りに覚え、私も用いられていきたいです。

３つの異文化が私を変えた ●森田剛健

今回の実習では、フィリピンの「人」に異文化を感じた。私自身を変えたと思われる三つの事柄を私の異文化としてあげようと思う。一つ目は、笑顔である。皆活き活きと目が輝いて、笑顔が素晴らしかった。二つ目は、コインをくださいという子どもに出会い、フィリピンの貧困の現状を目の当たりにするが、彼らの強さがそこにあると考察し、活気は貧困からくるのでは？と思わされた。三つ目は、過去のしがらみにとらわれない心の寛容さである。彼らの歴史的背景に何の未練もないその姿勢に、私は感銘を受けた。フィリピン人に学ぶべきことはたくさんある。私たちはお互いに尊敬をしあうことができる、横の関係を目指すべきであるはずだ。

※ＦＨ＝国際飢餓対策機構

ハンガーゼロ Hunger Zero

わたしから始める、世界が変わる

家庭で職場で学校で…

生活の中から“始める”

●書き損じ年賀はがきで応援する（古くてもOK）

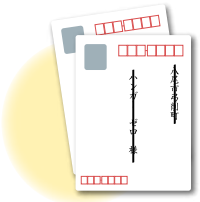
ポストに未投函のはがきや未使用切手を支援活動に用いさせていただいています。かもめーるはがきや収集されていた記念切手類なども大歓迎です。

【2018年6月～12月実績】㈱はがきは日本郵便のものに限定

はがき：59,225円分の切手に換金。

未使用切手：220,778円分。

国内外の通信費軽減になります。



●『本deリンク』で支援する

ハンガーゼロ愛知事務所では送られた本やCD・ゲームソフトを換金して、飢餓・貧困に苦しむ人々の支援に使わせて頂いています。引っ越し、大掃除の際にもぜひお送りください。ご利用の際は愛知事務所へお問合せください。

【2018年度7月～12月実績】

28,241円（本 549冊、CD81枚、DVD 26枚）

㈱破れや汚れ、書き込みのある本、個人出版、文学全集は換金対象外です。ＣＤ類ケース割れ、ジャケット、歌詞カード不備、海賊版、個人用、カセットやVHSビデオも不可。

●ハンガーゼロ自動販売機を利用・設置する

飲み物を買うと1本につき10円がアフリカの人々に寄付されます。また防災対応のハンガーゼロ自販機を設置していただくと、緊急災害時の備蓄用としてパンの缶詰、水各96個が無償で提供されます。現在、全国で100台が稼働中です。さらに設置してくださる方を求めています。

【2017年募金実績】

設置97台　2,890,817円

設置のご相談は大阪事務所までどうぞ。設置費用は必要ありません。飲料の補充や回収も業者が行います。

2019年設置からデザイン変更予定

〈設置者の声／日本ロングライフホールディング㈱〉

有料老人ホームを全国展開している日本ロングライフホールディング㈱では、各ホームにハンガーゼロ自販機を設置しています。2018年は新たに神奈川県にある梶ヶ谷と宮崎台のホームに自販機2台が追加され、合計で22台となりました。

●フェアトレードの商品を購入する

開発途上国の生産者から適正な価格で買い取られた商品などを扱う会社（株式会社キングダムビジネス）から買って支援する。（販売収益からハンガーゼロ募金をいただいています）P.8に商品案内が掲載されています。

〈購入者の声／鎌倉市内のショップ経営者〉

「私は大量生産ではなく 手仕事にこだわった作品を展示販売しています。毎月届けられるハンガーゼロニュースに掲載されているフェアトレード商品が海外の貧困者の生活支援になる事を知ってからお店でも取扱う事にしました。少しでも貧困者の支えになればと教会で開催されるバザーでも販売しています。小さなことですが、私から始められることとしてこれからも続けるつもりです」

●募金箱を家庭や職場に置く

小銭と思われるお金も、飢餓・貧困に苦しむ人々にとっては何倍もの価値を持ちます。募金箱は、各事務所にお問合せください。新ロゴの新しい募金箱㊨ができました。

●使用済み歯ブラシや化粧品容器を集めて国際協力

テラサイクルの「歯ブラシ回収プログラム」を通じて当機構に募金ができます。詳しくは東京事務所へ。

「東京事務所のポスターを見て、歯ブラシで寄付になるならしてみようと思いました。」（利用者）

●ネットを活用する

自分のホームページやブログ、フェイスブック、インスタグラムなどのSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用して飢餓の現状を伝え、支援参加の輪を広げてください。

希望の種を蒔きませんか

Child Supporter チャイルドサポーター

参加や計画して“始める”

●世界食料デー大会を開催する

昨年は新たに「札幌」「横浜」「浜松」（P.2に浜松大会記事）が加わり全国29会場で開催されました。今年は山口県で新たな開催が検討されています、食料デー大会は、支援者の方々が主体となって計画・運営され。ハンガーゼロは講演者・現地報告者、親善大使派遣（調整）、チラシ・ポスターの提供などで運営をサポートさせていただきます。1年目は小規模のプレ大会から始めることもできます。詳細は食料デー事務局の東京事務所にお問い合わせください。

●海外キャンプやファシトレに参加する

「海外キャンプ」に参加して、活動地の人々の生活を体験し国際協力の実際を見たり、ハンガーゼロ・ファシリテートレーニングに参加して、飢餓の現状や国際協力の専門的な学びをしませんか。

★今年のキャンプ日程（②③は計画中）

①親善大使　ナイトdeライトと行くウガンダツアー
日程：2019年2月（P.8参照）

②親善大使　紫園香さんと行くカンボジアツアー
日程：2019年6月中旬～（7日間程度）
内容：子どもとの交流・家庭訪問、ミニコンサート等

③サマーキャンプ　8月

問い合わせ：ハンガーゼロ東京事務所
Tel：03-3518-0781　jifhtokyo@gmail.com

★ファシリテーター・トレーニングキャンプ
講義とワークショップで学ぶ
日程：2019年3月18～22日
会場：東京基督教大学
問い合わせ：大阪事務所　Tel：072-920-2225
今回から大阪事務所が事務局と運営を行います。

●事務所イベントに参加する

東京事務所ではチャイルドサポーターイベント「チャイサポハロハロ」を毎月開催中（1、10、12月を除く）、1月26日には「ハンガーゼロパートナー説明&交流会」を行います。詳細は、ニュースレターやSNSでその都度案内します。

また愛知・大阪・沖縄事務所でもイベントやボランティアに参加して頂けますのでぜひお気軽にご参加ください。

●企画して実行する

ハンガーゼロのスタッフを学校（幼保・小中高・大）や団体に招いて世界の現状について話を聞くことができます。親善大使を招いてチャリティーイベントを開催したり、文化祭で飢餓問題の啓発活動や写真パネル、国際児童画の展示、ワークショップなどの企画も立ててみませんか。

★ハンガーゼロ・チャリティコンサート OSAKA（計画中）
日程：4月中旬頃
会場：大阪クリスチャンセンター（大阪市内）
内容：ハンガーゼロ親善大使の演奏と最新の活動報告
主催：ハンガーゼロ大阪事務所

Hunger Zero 親善大使

お問い合わせは
東京事務所まで

上原令子
ゴスペル歌手

森 祐理
福音歌手

ソン・ソルナム
フルート奏者

小堀英郎
ピアニスト

Manami
シンガー

ナイトdeライト
ロックバンド

紫園 香
フルート奏者

募金を“始める”

送金方法
①郵便振替　00170-9-68590
一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替
③クレジット、デジタルコンビニ

- 「ハンガーゼロサポーター」になる。（一口1000円／月）
- 「チャイルドサポーター」になる。（子ども一人4000円／月）
- 「JIFHサポーター」になる。（一口 500円／月）

他「Tポイント募金」Tカードの保有ポイントで募金する。
「つながる募金」スマホやPCから支援する。（旧かざして募金）

大阪女学院高校生が写真集を制作して募金協力

同高３年生の樋口あずささん（左から２人目）ら６人が、2000 ～ 2001 年生まれの仲間を集めた写真集「カレンズ ミレニアムズ 2018」(A4版／30頁／500円)を編集・販売し、その売り上げから８万円をハンガーゼロに募金してくださいました。写真集は高校生たちが、撮影やファッションコーディネート、メークなどをそれぞれ担当し、約半年かけて完成させたもので、「21 世紀への変わり目に生まれた若者の個性をファッションや夢を語るメッセージなどで表現し、新世紀を担う私たちの今を伝えたかった」と樋口さんは話しています。これから社会に飛びだそうという高校生の協力はハンガーゼロにとって心強く、世界の飢餓・貧困の中で生きる子どもたちへの関心を社会に広げる原動力となると期待しています。

樋口さんから募金を受け取る近藤総主事。後日、産経新聞で紹介されました

●写真集の入手はこちらのサイトから　https://millenniums.official.ec

ゴスペル亭パウロさんが「防災落語」で啓発活動

2018年11月10日㈯午後、大阪市平野区クラフトパークにて「なかよし防災学ぼう会 ～笑って真剣に学ぼう！大切な防災のこと～」が開かれ、近隣の約 40 名の方々がゴスペル亭パウロ(小笠原浩一さん＝防災士) による「防災落語」に楽しく、時には真剣に耳を傾けました。会の冒頭には、区役所の防災担当者が最新の「防災マップ」の紹介と共に「自助共助」の大切さを話されました。

この日の落語は「避難所生活のあれこれ」と「ペット防災」という二席で、途中 20 分ほど、ハンガーゼロが昨年 7、8 月に行なった西日本豪雨災害における倉敷市真備地区での緊急支援活動について紹介させて頂きました。会全体を通して、落語の楽しさの中にも防災意識を日頃から持つ大切さについて一緒に考える時を持つことができ、参加者からはさっそく次回の防災落語会は？との声が上がっていました。(報告・近藤総主事)

「防災落語はとても面白かったので、是非続編も観たいです。ハンガーゼロの講演は写真がたくさんあっ て被災地の様子や今の状況がよく分かりました。今年は本当に災害が多くて怖い思いをしたのに、特に被害がなかったために既に忘れかけてのんきに過ごしている自分に気付かされました。備えないといけないと思いつつ、そうしていないことに少しは手をつけたいです。」(参加者の声)

●防災落語についてはメールにて　jesuschrist.sonofgoodsavior@gmail.com

岡山キリスト災害支援室が新拠点「まびくら」を開設

2018 年７月の集中豪雨被災者のために地元キリスト教会で生まれた支援ネットワークの「岡山キリスト災害支援室（岡キ災）」（倉敷市広江）では 2018 年 11 月までボランティア活動を続けてきました。すでに災害発生から半年経過しましたが、現在も真備地区の方々から様々な支援の要請があります。そこで真備の方々に家屋の片付けとともに交流や催しができる新拠点『まびくら』（「まびにくらしのぬくもりを」から命名）が 12 月８日に開設されました。ボランティア希望者は直接岡キ災に連絡ください。（報告：伊東）

【岡山県倉敷市真備町有井 66-6 ／メール：ok.kurashiki@gmail.com 】

愛の手インターナショナルが第2回米国コンサート

2018年3月28日から4月3日、ハンガーゼロ親善大使の森祐理さんがサンフランシスコ地区で第2回目のコンサートを開催しました。今回は同じくハンガーゼロ親善大使のManamiさんも同行して下さり、ご一緒に多くの教会を回ることが出来ました。

「愛の手」では、2013年から毎年ハンガーゼロと共催で全米各地で森祐理さんのコンサートを行い、多くの皆さんに世界の飢餓の現状についてお知らせをしてきました。

アメリカではクリスマスの飾り付けが12月に入ると始まり、家族での楽しい交わり、プレゼント交換、楽しい食事会など1年で一番楽しい時を迎えます。そんな中で貧しい子どもたちへのプレゼントのドネーションや食べることに困っている人たちへのフードサービスも各地で行われます。

豊かなアメリカでも経済的に困難な人や家族も増えています。こんな時に世界で起きている飢餓、貧困、紛争、災害に対して、「わたしから始める、世界が変わる」心を私たちが持って、愛の支援が広がっていくことを願っています。愛の手ではアメリカ在住の日系人教会、個人にハンガーゼロニュースレターをお送りして、サポーターを求めています。

（報告：愛の手インターナショナル 主事　藤川武彦）

サンフランシスコの日系人教会で歌う森親善大使

Manamiさん㊨はこの後、田村スタッフとともにボリビア活動地を訪問

地域交流カフェで「国際児童画展」

昨年の秋、世界食料デーの開催準備に忙しいころ、大阪八尾市の高安駅東側商店街にある、私の所属している教会（グレース宣教会）によって運営されている地域交流カフェ「つむぐカフェ」でくつろいでいた時の事です。

丁度カフェでは、ハンガーゼロ主催の「国際児童画展」開催中で、フィリピン、バングラデシュ、カンボジア、ウガンダ、ボリビアなどの子どもたちの日常の一コマが活き活きと描かれた絵が、壁一面に掲示されていました。

社会貢献に関心があってと来会

一つ一つを楽しく眺めていると一人の御婦人がカフェに来られました。この地域交流カフェの事をネット等で調べて来られた様子で、特に子どもを対象にしたプログラムにに関心を持っておられました。つむぐカフェでは「子ども食堂」の実施に向けて準備段階である事をお伝えすると、子育てをやっと終えることができたので『これからは社会貢献をしていきたい』とのお考えでした。

うれしいですね〜。この世知辛い世に在って御自身から自分の時間を、人生の一部を提供してみようとされる優しい心意気が伝わってきました。早速、一緒に絵画を眺めながらハンガーゼロの活動と事務所でのボランティアの事をお話させて頂きましたら、後日「チャイルドサポーター」に申し込んで下さったとの事。壁の絵の中の子どもたちが、人と人を紡（つむ）いでくれました。（報告：同教会中沢氏）

子どもたちの絵を見て寄せられた感想

●一番驚いたのはフィリピンの子たちの絵です。数年前の作品と、描かれている生活状況が大きく変化していました。もちろん、今も田舎へ行けばそのままの所も多くあるはずですが…。私たちも、いつも認識を新しくしていく必要を教えられました。ボリビア作品の「サッカーボール」も輝いていました！（Nさん）

●子どもの視点から見た家族団らんが、その国ごとに特徴があって楽しめました。生活と仕事が密着していて、家族で楽しく働く姿が昔の日本のようだなと、ある意味、豊かな生活だと思いました。（Mさん）

ハンガーゼロニュース　第342号　発行日2018年12月20日（毎月20日発行）定価15円

Hunger Zero

ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体（NGO）です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。

スタッフ研修会を実施

1月7～9日 大阪で

研修会では、特別講師に国際飢餓対策機構連合のランディ・ホーグ代表、韓国飢餓対策機構スタッフ1名も加わり、ハンガーゼロの活動を推進していくための学びやアイデア、今後の計画などを討議しました。

「2019年恵みセット」

今年もフェアトレード商品を

昨年もフェアトレード商品のご購入を通して飢餓・貧困に苦しむ人々へのご支援をありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。

Ⓐチョコレート1個　380円
※種類はおまかせ
Ⓑグリーンティー1袋(150g)　760円
Ⓒアールグレイティー1袋(60g)　760円
以上3点を合計2,500円（梱包発送料600円込み。㊟日本国内限定）でお届けします。
＊1セットにつき90円を、アフリカの子どもたちの給食支援としてハンガーゼロに募金。

【お申し込み先】
株式会社キングダムビジネス
郵便局払込で株式会社キングダムビジネス口座へ。
電話06(6755)4877やウエブサイトからも注文ができます。

まもなく締め切り

2月 ウガンダツアー

ハンガーゼロ親善大使ロックバンドの「ナイト de ライト」とウガンダに行きませんか。明るい子どもたち、奮闘するお父さん、あたたかいお母さん。笑顔あふれるアフリカへ「あなたの宝探し」に一緒に出かけましょう。

期間：2019年2月12日㈫～22日㈮
費用：39万5千円
内容：子どもたちとの交流や家庭訪問、「ナイト de ライト」ミニライブなど。現地の人々と間近で接し、コミュニティにおける開発とは何かについて知るチャンスです。
応募先：ハンガーゼロ東京事務所
TEL：03-3518-0781
Email：**jifhtokyo@gmail.com**

ガンビアに「パンの缶詰」

ハンガーゼロの企業パートナーである㈱パン・アキモトの協力により昨年12月11日、西アフリカのガンビア共和国にパンの缶詰24,741缶を大阪からコンテナ便で輸送する手続きを行いました。到着は2月頃を予定、現地パートナーを通じて食料支援に用いられます。

ワン・ワールド・フェスティバル2019

西日本最大の国際協力のお祭り

2019年2月2日㈯・3日㈰10時～
ハンガーゼロ・カフェを出展

ハンガーゼロの大阪事務所とフェアトレード商品販売のキングダムビジネスは、今回もワン・ワールド・フェスティバルにブース出展します。会場では様々な国際協力団体の展示や催しがあります。ぜひご来会ください。
ハンガーゼロ：扇町公園（みんなのキッチン）
キングダムビジネス（出展形態は調整中）

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

ふりがな 氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年　月　日　NL 342号

✓	下記から希望されるものをお申し込みください
□	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月（　　）口（1口1,000円） ②一時募金として　　円協力します。
□	継続募金(JIFHサポーター)として協力します。 毎月（　　）口　　（1口500円）
□	チャイルドサポーター（子ども1人毎月4,000円）の説明書（申込書）を送ってください。
□	郵便自動引落し申込書を送って下さい。
□	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。**お電話やウエブサイトでも申し込みできます。**

Hunger Zero サポーター　現在…4545口

■発行者　清家弘久
■発行所　一般財団法人 日本国際飢餓対策機構
ハンガーゼロで検索！
Webサイトアドレス　http://www.hungerzero.jp
eメールアドレス　general@jifh.org
フェイスブック　facebookでハンガーゼロで検索

■募金方法　※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウエブサイトで
①郵便振替　00170-9-68590　一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ

「つながる募金」(旧かざして募金)に変わりました。ソフトバンクスマホの方は、Tポイントで募金ができます。

大阪　〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
（広島）　TEL(072)920-2225　FAX(072)920-2155
東京　〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
（東北）　TEL(03)3518-0781　FAX(03)3518-0782
愛知　〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F
TEL(052)265-7101　FAX(052)265-7132
沖縄　〒900-0033 那覇市久米2-25-8　メゾン久米202号
TEL(098)943-9215　FAX(098)943-9216
USA　Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939　FAX(510)293-0940

Hunger Zero　JIFH　チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに612,838ポイント（円）のご協力（6,928件）がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル㈱経由となります。詳しくはウエブサイトをご覧ください。